

佐渡市新穂地区で「地区防災計画」ワークショップを実施

10月22日(日)佐渡市新穂地区で高齢者安否確認防災訓練が開催され、第二部として「地区防災計画作成のためのワークショップ」を実施し各地区の代表役員など60人が参加しました。

当該地区は、平成29年に自主防災会、地域づくり協議会、関連行政などからなる「新穂地区防災円卓会議」により「地区防災計画」が策定され内閣府の地区防災計画モデル地区となっている。

当会は、東北大学災害科学国際研究所プロジェクト講師 保田真理博士から直伝の「OurTime line」(通称アワタラ)をワークショップに取り入れて「地区防災計画」の住民への浸透と「既存の地区防災計画の分割」を目的に防災訓練参加者にワークショップ実施しました。

予定時間をオーバーして活発な意見交換が繰り広げられました。

■概要

日時:令和5年10月22日(日) 10時~12時

会場:佐渡市新穂地区武道場

実施者:日本防災士会・新潟県支部 3名

会場の全景



若手リーダーの活躍



意見集約と発表



アワタラシートは意見がびっしり

